

新年あけましておめでとうございます。



皆様、新しい年を気持ちを新たにお迎えになったことと存じます

皆様、お変わりなく新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日本の社会経済の構造改革、規制緩和は、貧困、格差など多くのひずみを生じつつも、引き続きやむことがありません。新しい法制定が今も続いています。一方、生産者主導から消費者重視の流れは司法の世界でも例外ではなく、裁判所の下す判決内容は消費者重視の傾向が強まってきています。

官僚主導から市民、民間主導の社会への変革の象徴は来年から始まる裁判員制度ですが、弁護士人口の増加は確実に弁護士の業務のあり方も変えつつあります。弁護士としてのキャリアは27年となりましたが、このような時代の要請を肯定的に捉え、本当によい仕事をする法律事務所を目指して行きたいと思えます。

当法律事務所が個人から弁護士法人に経営体制を転換して1年余り、昨秋には清新な松村絵里子弁護士を迎えました。より信頼される、レベルの高い法的サービスを提供できる法律事務所を目指してさら

に努力して参ります。どうぞよろしく願い申し上げます。

皆様の今年のご多幸をお祈りして新春のご挨拶とさせていただきます。

弁護士 安保嘉博



新しい年をいかがお過ごしでしょうか。

当職は、昨年4月から本年3月まで、京都弁護士会の副会長を務めさせていただいています。弁護士会は、公権力から監督等を受けず、自治権が認められています(これを、弁護士自治と言います。)。弁護士活動に対し、他の権力から介入を受けると、市民の権利を守ることができないからです。

京都弁護士会では、会を代表する会長1名及び会長を補佐する副会長4名で、日常の会務の決済、執行を行っています。弁護士会の全ての業務が決済に回ってきますので、毎日の決済量はかなりの量で、一日、理事者室に行かないと決済箱が書類であふれることとなります。

週1回の理事会、週1回の当番(弁護士会に詰めている日)のほか、月1回の常議員会、年3回の総会、担当する18の委員会、会主催の講演会、日弁連や近弁連の会議、関係機関との会議等の出席など、スケジュール表は会務が大半を占めている状態です。会務のため、事務所に居ないことが多く、依頼者の皆様等にはたいへんご迷惑をおかけしております。

司法改革、各種法及び法制度の急テンポの改正等に対し、弁護士会の市民の権利を守るための活動がますます求められているところですので、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。副会長の仕事によって、新しい視野を得、弁護士業務に対する理解も深まりましたので、今後の弁護士活動に生かし、精励したいと考えています。

今年も皆様にとって、良い年であることをお祈り申し上げます。



京都弁護士会主催「憲法と人権のつどい」講師の水谷修先生(夜回り先生)とともに(2007年12月9日)

弁護士 松村絵里子

現在は、嘉博先生、千秋先生のご指導の下、事務所事件をさせて頂いております。他、両先生の御協力もあり、事務所事件以外の活動についても積極的に取り組まさせていただいております。最近の活動としては、静岡で行われた人権大会や、欠陥住宅全国ネットの岐阜大会にも参加させて頂きましたし、さらに、電話リース弁護団の活動、弁護士会での委員会活動としまして、子どもの権利委員会、消費者・サラ金被害救済センター運営委員会、公害対策・環境保全委員会の3つの委員会にも所属させて頂いております。このような事務所外の活動では、多くの人に出会うことができるため、たくさんの刺激を受け、事務所事件を扱った時とはまた違ったおもしろみを感じます。

他方で、事務所事件の処理にあたっては嘉博先生、千秋先生のご指導の下、弁護士として取るべきスタンスや依頼者との接し方などを勉強させていただき、自分の認識不足や経験のなさを痛感させられることも多いのですが、一つ一つ力をつけて、いつか自分も一弁護士として依頼者から篤い信頼を置かれるような存在になるために日々努力していきたいと思っております。

また、この3ヶ月を振り返れば、弁護士の仕事が依頼者の人生を大きく左右する非常に責任ある仕事であることを痛感すると共に、依頼者の心の底からのニーズに応えるという本当にやりがいのある仕事であることも実感いたしました。弁護士という職業に就くことができ、私の愛する京都で、本事務所の一員として働くことが出来て、私はなんと運が良かったのだろうと感謝しております。

【プライバシーポリシー】

都大路法律事務所は、個人情報保護法を遵守するとともに、個人情報保護方針に沿って個人情報の適切な保護に努めます。

1.個人情報の利用目的

当事務所は、収集した個人情報について以下の目的の範囲内で取り扱います。個人情報保護法その他の法令により認められる事由がある場合を除き、本人の同意がない限り、この範囲を超えて個人情報を利用することはありません。

- ① 弁護士業務
- ② 法律関連情報の提供や挨拶状・事務所通信の送付
- ③ 社会的な問題でお願い文書を送付
- ④ その他、上記の利用目的に附随する目的

2.個人情報の第三者への提供

当事務所は、あらかじめ本人の同意を得ている場合及び法令の規定による場合を除き、個人情報を第三者へ提供することは絶対にありません。

